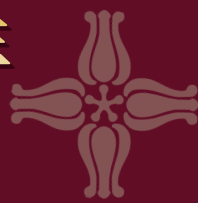




山形東高創立140周年 記念事業報告



ごあいさつ

山形東高創立140周年記念事業実行委員会 会長
同窓会 会長
高橋 一夫



記念式典において

山形県唯一の中学校として明治17年創設された母校は、幾多の変遷を重ね、幾多の困難を乗り越え、令和6年10月29日に創立140周年を迎えました。大変な慶事であり、まことに喜びに耐えないところです。

これまででも、10年毎の周年記念事業では、母校の教育環境の整備を行っております。過去には武道館、山東講堂、山東会館がありますが、140周年では「ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を次世代に」をコンセプトに掲げ、「正門復元建設と周辺環境整備」と「結城豊太郎蔵相ご揮毫の国旗掲揚台の復元建設」を行いました。

特に、正門のロータリーにつきましては、集中豪雨を受けても、快適な環境を維持できるように、新正門については、過去を引き継ぎ未来に向かって山形東高等学校のシンボルになれるように、との願いで事業を行ったものであります。

この記念事業を実施できたのは、募金活動にご協力いただいた同窓会会員の皆様、現職員・旧職員の皆様、PTAの皆様、その他篤志寄付をいただいた法人、団体、個人の皆様のおかげです。コロナ禍による自粛生活と経済停滞の長期化という、募金活動の難しい状況下でも変わらぬご支援をたまわりましたことを心より感謝申し上げます。

記念事業のコンセプトを体現すべく、全知全能をかけて建設・制作していただいた事業者の方々のご努力にも頭が下がる思いです。

- (1) 工事全般の設計監理 永井設計 様
- (2) 正門及びモニュメントの復元建設 (株)石駒 様
- (3) 正門周辺の環境整備 渋谷建設(株) 様
- (4) 旧校名板の復元設置 森谷大佛堂 様
- (5) 記録映像制作 坂部印刷(株) 様

また、こうした事業全体を調整していただいた事務方の皆様、ありがとうございます。

明治26年、現在地への校舎移転とともに建設された「正門」は、創建当時の清新な姿のままに蘇り、築庭に千歳園の古跡をしのびつつ、瀟洒かつ機能的に整備されたアプローチと相映じ、新たな歴史を刻み始めることになりました。

「山東同窓会」の本質は、青春時代のまっただ中を「山形東高」という同じ学び舎で全員が過ごしたという経験、その経験から生まれ出る「絆の連鎖」なのです。その絆は、同世代はもとより各世代にまたがってつながっているのです。皆様力を結集して作り上げ次世代へとつなげた「正門」が、「絆の連鎖」のシンボルとなってくれることを願ってやみません。

結びとして、山形東高等学校の益々のご隆盛と在校生および同窓生全員の皆様をお祈りし、私からのごあいさつといたします。



除幕式において
山形県立山形東高等学校 校長
渡邊 晃



記念講演会において 講師
元宇布飛行士、全国科学館連携協議会会長
毛利 衛氏

記念事業経過報告報告

正門復元建設及び周辺の環境整備

～ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を次世代に～

令和3年度

- 4.2.10 第2回評議員会(コロナ禍のため書面議決)
○母校の要望を受けて記念事業に「正門の復元建設と周辺の環境整備」を選定

令和4年度

- 4.4.20 会報第74号(正門の歴史について紹介)
4.6.10 記念事業実行委員会設立総会①
《ホテルメトロポリタン山形》
○事業の概要、規約、役員、予算、募金計画の決定
○ホームページに記念事業欄を新設して広報活動を開始
4.9.6 仙台国税局から「寄附金控除」が認可される
4.9.8 採石場の見学会② 《高島町阿久津》
○旧正門の山寺石は採掘中止、同じ奥羽山系の凝灰岩を求めて高島の採石場へ
4.9.28 U40評議員の集い③
○若手評議員に呼びかけ親睦を兼ねて学年募金の発送作業をサポート
4.10.1 募金活動開始
(期間令和4年10月1日～令和5年9月30日)
○趣意書発送、コンセプト決定「ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を次世代に」
4.11.8 原石の搬出作業④ 《高島町阿久津》
○楔を打つ音が響き、割り出された原石は、冬の間に加工場で下処理された
5.2.3 四役会
○篤志寄附の募金活動の推進
5.2.9 第1回常任委員会
《ホテルキャッスル山形》
○施工業者(測量設計、石工事)の選定
○「結城豊太郎蔵相ご揮毫の国旗掲揚台」のモニュメント工事を追加決定

令和5年度

- 5.3.30 国旗掲揚台の搬出作業⑤
○国旗掲揚台は五つに割れた状態、重機が入らぬ場所は手作業の搬出となった
5.4.6 原石の切削作業⑥
○いびつな原石から必要な体積を削り出す、正確で熟練した技術を要す作業
5.4.20 会報第75号
(記念事業の概要と寄附のお願い)
5.6.30 臨時役員会
○募金期間の再検討
当初の予定通り1年間とし目標達成に向けて募金活動強化
○予算は補正せず、工事費・事務費の総額でそれぞれ対応する
5.9.1 第2回常任委員会
《ホテルメトロポリタン山形》
○記念事業の経過報告、令和4年度会計報告、募金期間の了承
○記念式典・記念講演会の準備状況報告(母校から説明)

- 5.9.11 測量設計、石工事(正門建設、モニュメント設置)をそれぞれ発注・契約
5.9.30 募金活動終了
総額31,127,700円(達成率89%)
6.2.9 第3回常任委員会
《山形グランドホテル》
○令和5年度事業報告、予算執行状況、募金活動の総括、令和6年度事業計画
6.3.25 記念事業記録映像制作準備会
○内容の検討 正門建設の記録に加え母校の今を伝える生徒参加型の作品に
6.3.29 土木工事(周辺整備)の見積り合せ、施工業者の選定、発注・契約

令和6年度

- 6.4.20 会報第76号(募金協力のお礼、事業の進捗状況、記念講演のご案内)
6.5.8 旧正門撤去作業見学会⑦
○門柱は笠石から順に吊り上げられ撤去された。最後に見えてきた袴石にはホゾ(凸部)が施されており、本体の凹部と合致。受け継がれてきた巧みな技に感動。
6.5.22~7.8 土木工事(周辺整備)の作業
6.7.4 記念事業記録映像の制作作業(母校と協力)
~9.19 ○学校行事の撮影、インタビュー、放送部員によるナレーションの協力
6.7.29 新正門設置、モニュメント(旧正門・国旗掲揚台)設置
~7.31
6.9.5 新正門除幕式⑧
○同窓会長・校長・生徒会長ら12人で除幕。続いて、全校生徒で校歌を歌い新正門に「命」を吹き込み、記念撮影する計画だったが、コロナ禍で中止。
6.9.6 第4回常任委員会
《ホテルメトロポリタン山形》
○令和5年度会計報告、除幕式の報告、新聞広告協賛の進捗状況
6.9.12 新正門完成祝賀 全校生徒記念撮影(表紙)
6.10.29 「山形東高創立140周年特集紙面」掲載(山形新聞)
創立140周年記念式典・記念講演⑨
《やまぎん県民ホール》
○記念講演/宇宙飛行士・全国科学館連携協議会会長 毛利衛氏
「宇宙からの視点我々は何故挑戦し続けるのか」
○記念事業記録映像の映写祝賀会(母校主催)
《ホテルメトロポリタン山形》
6.11.25 会計監査
6.12.13 記念事業実行委員会解散総会
《山形グランドホテル》
○記念事業の経過報告、総括、会計報告・監査報告、解散



工事の概要

《正門の復元建設と周辺の環境整備》

【旧正門の概要】

※高さや重量は正柱が基準

- ・明治26年(1893)建設、第2回校舎とともに建設され2度の大火に耐えた明治の遺構
- ・外観 正柱(2本)3.7m 側柱(2本)3.3m
- ・構造 笠石と受け台 山寺石(凝灰岩)約300kg
本体 山寺石(凝灰岩)約1t
袴石 馬見ヶ崎石(安山岩)
- ・耐震 ホゾ加工 本体(凹部)と袴石(凸部)
- ・耐水 笠石の装飾細部を傾斜させ雨水対策
- ・校名板 庄司善助・元校長の筆(昭43年)
- ・昭和60年 創立100周年の校舎建設時に大型車両の通行にあわせて幅を広げ前方に3.5m移動



創立140周年記念事業会計決算書

収入総額 31,128,885円
 支出総額 31,128,885円
 差引残額 0円

篤志寄附

敬称略：五十音順

収入の部

単位：円

	予算額(A)	令和4年度 ①	令和5年度 ②	令和6年度 ③	決算額(B) (①+②+③)	差額 (A)-(B)
1 寄附金	35,000,000	17,478,000	13,649,700	-	31,127,700	△ 3,872,300
同窓会寄附金	30,000,000	14,823,000	8,471,700	△ 15,000	23,279,700	△ 6,720,300
篤志寄附金	5,000,000	2,655,000	5,178,000	15,000	7,848,000	2,848,000
2 雑収入	0	1	90	1,094	1,185	1,185
合 計	35,000,000	17,478,001	13,649,790	1,094	31,128,885	△ 3,871,115

支出の部

単位：円

	予算額(A)	令和4年度 ①	令和5年度 ②	令和6年度 ③	決算額(B) (①+②+③)	差額 (A)-(B)
1 正門・周辺整備費	30,000,000		2,000,000	25,015,000	27,015,000	2,985,000
測量・設計費	580,000	0	0	580,000	580,000	0
正門建設工事費	11,840,000	0	2,000,000	11,435,000	13,435,000	△ 865,000
モニュメント設置工事費	730,000	0				
舗装、植栽設置工事	16,850,000	0	0	13,000,000	13,000,000	3,850,000
2 募集経費	5,000,000	2,520,983	472,732	1,120,170	4,113,885	886,115
印刷・送付費	2,150,000	1,335,673	139,733	381,698	1,857,104	292,896
学年募集活動費	1,680,000	779,200	218,996	0	998,196	681,804
事務費	890,000	406,110	114,003	738,472	1,258,585	△ 368,585
予備費	280,000	0	0	0	0	280,000
合 計	35,000,000	2,520,983	2,472,732	26,135,170	31,128,885	3,871,115

※モニュメント工事は、正門建設工事と一体の1契約のため、支出は一括となった。
 ※事務費には「旧校名板復元作業料」を含む。

私達は創立140周年記念事業実行委員会会計について監査しました結果、適正に処理してされていることを認めます。

令和6年11月25日

監事 會田 一 洋
 監事 吉田 昌 平



※記念事業記録映像は同窓会ホームページか右のQRコードにアクセスしてご覧いただけます

◆現職員・旧職員

浅井 幸世	朝倉 睦美	阿部久美子	伊藤 和夫
伊藤 正弘	伊藤 行生	大泉 俊彦	折原 寛博
海谷 玲子	勝見英一朗	鎌上 宏	亀井 慎子
黒木 晃	黒瀬 純子	小関 雄一	後藤 久男
齊藤 智昭	寒河江 茂	佐々木隆行	佐藤 俊一
地主 好	渋谷 律	須貝 英彦	菅間 裕晃
鈴木 孝志	相馬周一郎	高橋 栄二	高橋 章一
武田 芙蓉	棚村 好彦	富澤美穂子	長岡奈保子
日野 顕正	村上 温子	村田 崇	柳谷 豊彦
山川 智昭	山川 博史	渡部 泰山	

◆個人

今田 修一(山東17回)	榊原 憲二(山東27回)
高橋 一夫(山東21回)	高橋 幸雄(蛭雪会)
丹野 弘三(蛭雪会)	浜田 敏(山東17回)
森谷 寛(山東17回)	山崎 昌宏(山東6回)

◆法人

(株)石駒	柿崎喜世樹法律事務所
(株)きらやか銀行	(株)蔵王ファーム
坂部印刷(株)	さとこ女性クリニック
(医)篠田好生会篠田総合病院	
(株)荘内銀行	(株)ジョイン
(医)清永会矢吹病院	
(医)青嵐会ごとう歯科・矯正歯科クリニック	
(医)泰道会佐藤眼科医医院	
高橋畜産食肉(株)	(株)長栄堂
(株)テレビユー山形	トヨタカローラ山形(株)
(株)永井設計	日本環境科学(株)
日本地下水開発(株)	ネットトヨタ山形(株)
(医)まつながキッズクリニック	
(株)丸十大屋	丸和熱処理(株)
山形ガス(株)	(株)山形銀行
山形トヨタ自動車(株)	山形トヨペット(株)
山形パナソニック(株)	(株)山形丸魚
(株)ヤマコン	リンベル(株)

◆団体

(株)さくらんぼテレビジョン 山東卒業生有志一同
 山形県庁東高会
 山形市歯科医師会 山東会
 山形市役所東高会
 山形東高仙台同窓会
 山形東高PTA
 山形東高夜間部同窓会 東京支部(蛭雪会)
 山中・山東東京同窓会
 山形テレビ 山東同窓生有志
 山東山新グループ同窓の集い

【新正門】

- ・山寺石は採掘中止のため高皇石（凝灰岩）使用
- ・袴石と校名板 引継いで使用
- ・耐震 ホソ加工に加えて袴石と本体を接着剤接合
笠石と受け台をステンレスピン固定
- ・耐水 笠石に保護剤塗布

【周辺整備】

- ・全面舗装、排水工事、照明灯、正面の柵、緑石の整備等
 玄関前の築庭は、大正元年に完成した第4回校舎の周辺整備として大正5年に生徒達の労力奉仕で造られた。このたびの工事で埋もれかけた緑石（山寺石）を掘り起こし再設置すると中心性が強調され、風格ある存在感が際立ってきた。正門まわりの柵もアルミ製に替え統一を図るとともに、植栽の根上がりにも対処した。



《旧正門のモニュメント》

新正門に袴石と校名板を引継ぎ、旧正門はロータリー西側に移設され、山形中学の草創期をしのぶ明治の遺構としての歴史的価値を伝えるモニュメントとなった。

旧正門にふさわしい校名板が必要になり、保存してあった昭和25年に「山形県立山形東高等学校」に移行した際の木製校名板を、森谷寛氏（山東17回）に復元補修していただいた。新たな学びへの息吹にあふれた当時の勢いある校名が蘇り、これもまた「山東」の原点を示すモニュメントとして次代に引継がれていくことになるだろう。



記録映像

CELEBRATION
140
 YEARS
 ANNIVERSARY

創立140周年記念事業募金額

目標額 35,000,000円
募金総額 31,127,700円 【達成率:89%】

募金期間
令和4年10月1日～令和5年9月30日

単位：円

卒業年	卒業期	会名	目標額	募金額
昭和16	山中54	瑞穂会	任意	20,000
// 17	// 55	昭南会	任意	10,000
// 20	// 58	万朵会	任意	20,000
// 20	// 58(4)	銀河会	任意	10,000
// 21	// 59	太平会	任意	10,000
// 22	// 60	//	任意	30,000
// 23	// 61	六一会	任意	13,000
// 24	一高1	//	任意	20,000
// 25	一高2	ふたば会	任意	140,000
// 23	一高併中1	東一会	任意	30,000
// 26	山東1	//	任意	150,000
// 24	一高併中2	東友会	任意	10,000
// 27	山東2	//	任意	127,000
// 28	// 3	東三会	任意	215,000
// 29	// 4	東四会	任意	205,000
// 30	// 5	古稀会	任意	375,000
// 31	// 6	六翠会	任意	330,000
// 32	// 7	一行会	任意	260,000
// 33	// 8	東八会	任意	423,000
// 34	// 9	東鳩会	任意	367,000
// 35	// 10	東濤会	任意	200,000
// 36	// 11	東土会	任意	592,100
// 37	// 12	東睦会	任意	250,000
// 38	// 13	三山会	任意	290,000
// 39	// 14	龍雲会	任意	210,000
// 40	// 15	笑龍会	40万円	400,000
// 41	// 16	竹馬会	40万円	400,000
// 42	// 17	六七会	40万円	400,000
// 43	// 18	東哉会	50万円	625,000
// 44	// 19	鵬雲会	50万円	500,000
// 45	// 20	翠巒会	50万円	545,000
// 46	// 21	四六会	50万円	420,000
// 47	// 22	主一会	50万円	280,000
// 48	// 23	志也会	50万円	815,000
// 49	// 24	東翼会	50万円	500,000
// 50	// 25	九重会	50万円	640,000
// 51	// 26	互一会	70万円	445,000
// 52	// 27	東紋会	70万円	920,000
// 53	// 28	天馬会	70万円	495,000
// 54	// 29	共一会	70万円	485,000
// 55	// 30	東翔会	70万円	735,000
// 56	// 31	五六会	70万円	750,000
// 57	// 32	槌音会	70万円	735,000
// 58	// 33	継世会	70万円	505,000
// 59	// 34	双翼会	70万円	340,000
// 60	// 35	百東会	70万円	595,000
// 61	// 36	慧琥会	70万円	385,000

卒業年	卒業期	会名	目標額	募金額
昭和62	山東37	鴻紀会	70万円	465,000
// 63	// 38	東龍会	70万円	815,000
平成元	// 39	魁成会	70万円	435,000
// 2	// 40	東駿会	70万円	335,000
// 3	// 41	翔洋会	70万円	291,000
// 4	// 42	志成会	70万円	293,000
// 5	// 43	東鵬会	70万円	765,000
// 6	// 44	東皐会	70万円	325,000
// 7	// 45	百珠会	70万円	325,000
// 8	// 46	東玲会	70万円	146,000
// 9	// 47	東凌会	60万円	340,000
// 10	// 48	天成会	60万円	268,000
// 11	// 49	東珀会	60万円	195,000
// 12	// 50	雙紀会	60万円	175,000
// 13	// 51	東暁会	60万円	225,000
// 14	// 52	東愛会	50万円	120,000
// 15	// 53	東魂会	50万円	95,000
// 16	// 54	東粹会	50万円	120,000
// 17	// 55	東節会	50万円	115,000
// 18	// 56	瑞雪会	50万円	5,000
// 19	// 57	和成会	50万円	80,000
// 20	// 58	重友会	40万円	85,000
// 21	// 59	結昇会	40万円	159,600
// 22	// 60	六黎会	40万円	70,000
// 23	// 61	勢翔会	40万円	125,000
// 24	// 62	栄継会	40万円	160,000
// 25	// 63	六三志会	任意	20,000
// 26	// 64	天晶会	任意	25,000
// 27	// 65	勲東会	任意	30,000
// 28	// 66	東禄会	任意	45,000
// 29	// 67	東標会	任意	55,000
// 30	// 68	讚燦会	任意	45,000
// 31	// 69	成節会	任意	40,000
令和2	// 70	令明会	任意	75,000
// 3	// 71	健穩会	任意	70,000
// 4	// 72	伍凜会	任意	35,000
// 5	// 73	蒼朋会	任意	75,000

同窓会	目 標	3,000万円	23,279,700
-----	-----	---------	------------

篤志寄附	現・旧職員	455,000	
	個人	1,285,000	
	法人	3,315,000	
	団体	2,793,000	
	目 標	500万円	7,848,000

募金総額	目 標	3,500万円	31,127,700
------	-----	---------	------------

【結城豊太郎・蔵相ご揮毫国旗掲揚台モニュメント】

昭和12年(1937)5月25日、大蔵大臣・結城豊太郎(山中9回、明治29年卒、本校生初の大蔵、後に日銀総裁)は母校を訪れて講演し、一本の白旗を後輩達への土産として持参した。一面には「奉公」、他面には札幌農学校教師・クラーク博士の言葉「Boys be Ambitious!」が墨書してあった。

結城の昼錦を記念して国旗掲揚台も改築され、自らの揮毫による「至誠奉公」の文字が刻まれた。この言葉には、国難の時代に立ち向かう後輩達への「時勢に流されず己の信じる誠を貫き社会に貢献せよ」との期待が込められており、開拓精神とともに時代を超えて受け継がれるべき山東生像を謳っていると言えるだろう。

「銘文」より

国旗掲揚台は校庭を見渡すスタンドに設置されていたが、創立100周年の校舎建設を機に取り壊され、五つに割れた状態で置かれていた。保存方法が懸案となっていたところ、このたび奉公旗と対をなす遺構としてモニュメント化が決まり、正門周辺環境整備工事に加えられた。

